

令和5年

第64回議会（定例会）

一般質問通告書（質問事項要旨）

令和5年2月10日（金） 1日間

沖縄県介護保険広域連合議会

目次（一般質問日程表）

質問順	議席番号	氏名	ページ	質問日
1	18	永山 清和	1～2	2月10日（金）
2	24	西田 吉之介	2	2月10日（金）
3	21	玉城 陽平	2	2月10日（金）
4	13	新垣 千秋	3	2月10日（金）

令和5年2月定例会 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問要旨
1	永山清和 議員	1. 令和6年4月からの介護保険料の均一賦課について	<p>(1) 現在の介護保険料のランクごとの額の決定方法はどの様に行っているのか。</p> <p>(2) これまでの賦課方式ができた理由は。</p> <p>(3) 介護保険料を均一賦課にする根拠は。</p> <p>(4) 均一賦課ではなく、2ランクにするという案はなかったのか。</p> <p>(5) 介護保険料を均一賦課にすることによる、これからの対応はどの様に。</p> <p>(6) 次期介護保険料の確定時期と、その周知はどの様に。</p>
		2. 全国一高いといわれている介護保険料への対策は	(1) 沖縄県は、介護保険料が全国一高いというが、介護広域としての対策は。
		3. 第1号被保険者1人あたり給付月額全国と沖縄県介護保険広域連合との比較について	(1) 広報誌第22号に掲載されている給付月額費の比較によると、通所介護が全国に比べて突出して多いが、その対策はどの様に行うのか。

質問順	質問者	質問事項	質問要旨
1	永山清和 議員	4. 先進地への視察研修制度も企画するべきだと考える。	(1) 市町村職員の人事異動は、3年から5年で行われ、その様な中で介護保険事業を進める事は大変難しいと考える。 介護保険事業をより伸展させるためには、市町村職員の緊密な交流（例えば先進地への視察研修）が必要と考える。介護広域として、その様な企画はないのか。
2	西田吉之介 議員	IT技術、DX(デジタルトランスフォーメーション)について	これまでの介護保険サービス及び介護予防事業などにおいて、IT技術やDXなど新しい技術を取り入れた経緯はありますでしょうか。
3	玉城陽平 議員	広域連合におけるDXの取り組みを問う	(1)DXの取り組みを進めるための組織体制はどのようになっているか。 (2)DXを進めるための機運醸成や職員のスキル育成のための研修は、どのようなものが行われてきており、今後はどのように行っていくか。 (3)AIやRPAの活用を含むデジタル技術を用いた業務効率化の取り組みはどのように進んでいるか。 (4)統計、施設情報、サービス一覧などの介護保険関連情報のオープンデータ化は、今後どのように進めていくか。

質問順	質問者	質問事項	質問要旨
4	新垣千秋 議員	1. 介護サービスについて	<p>(1) 要支援、要介護に認定される要件と申請から認定までの期間、申請件数、認定件数、設定率を伺う。</p> <p>(2) 要支援1、2と要介護1～5について、介護保険制度がスタートした2000年からの改正内容を伺う。</p> <p>(3) 介護施設等の充足率を伺う。</p>
		2. 介護保険料について	<p>(1) 令和6年度から介護保険料の均一賦課が開始されるが、保険料と値上げ額を伺う。</p> <p>(2) ランク1～3に分けていた経緯を伺う。</p> <p>(3) 保険料のこれまでの推移と今後の予定を伺う。</p> <p>(4) 国の負担金の推移を伺う。</p>
		3. 少子高齢化社会について	<p>(1) 施設や介護サービス、保険料等、今後の対策や施策等を伺う。</p>